

令和6年度一般会計決算賛否討論

反対討論

生活者ネットワーク
令和6年度、市民生活は物価高騰により、暮らしの厳しさや介護の不安など、解決の糸口が見えない状況であった。

そのような中、市独自の対策であるデジタルポイント交付事業は、全ての市民の生活の厳しさに対応するものではなく、デジタル推進が前提であり、より的確な独自施策を開拓すべきであった。また、少子高齢化や団塊の世代が75歳以上になる2025年問題が喫緊の課題である中、現場の人材不足などの介護問題への危機感がない施策などとつており、市は現場の実態把握に努め、市民ニーズに応える大胆な施策に取り組むべきであったと考え、本決算に反対する。

日本共産党府中市議団
令和6年度、物価高騰により、市民生活は苦しい状況が続いている。

そのような中、他自治体では積極的な繰越金活用などにより、市民の負担軽減に取り組んでいるが、本市では次期基金計画の見直しに当たり市債への配慮はしつつも、長年続く基金積立て優先の姿勢から脱却できていない。また、訪問介護の基本報酬引き下げに対する支援等についての事例を踏まえた対応を求める。三多摩トップクラスの財政力を生かし、一人ひとりの市民に引き下げるため、本決算に反対する。

賛成討論

府中市議会市民フォーラム
市制施行70周年を迎えた令和6年度は、安定した市民生活を維持するための長期的な視点を持った政策の構築が求められる1年であった。

そのような中、市では、健全な財政運営を維持しながら、福祉と教育部門が連携した切れ目のない支援の実現やゼロカーボンの推進、市民協働に関する条例の制定に加え、投資的経費の財源である基金の的確な積立てなどを行った。

市制施行100周年に向けて、様々な困難や変化に備え、誰も置き去りにしない、一人ひとりを大切にするまちの実現に向けた確実な一步であることを確信し、本決算に賛成する。

日本共産党府中市議団
令和6年度、物価高騰により、市民生活は苦しい状況が続いている。

そのような中、他自治体では積極的な繰越金活用などにより、市民の負担軽減に取り組んでいるが、本市では次期基金計画の見直しに当たり市債への配慮はしつつも、長年続く基金積立て優先の姿勢から脱却できていない。また、訪問介護の基本報酬引き下げに対する支援等についての事例を踏まえた対応を求める。三多摩トップクラスの財政力を生かし、一人ひとりの市民に引き下げるため、本決算に反対する。

歳 入

予算編成時と比較して
市税収入が増加した要因は

委員 予算編成時と比較して、市税収入が増加した要因は。
市民税課長補佐 個人市民税は、景気の緩やかな回復で、雇用・所得環境が改善傾向となり、給与所得や営業所得の増によって、納税義務者数が増加し、約7億6400万円の増額となつた。

資産税課長 固定資産税・都市計画税強化、分倍河原駅周辺整備の基本設計の完了など、未来を見据えた多くの施策が展開され、その成果は高く評価できるものである。

今後も市民が主役となり、誇りと愛着を持つて住み続けたいと思えるまちの実現に向け、健全な財政運営と市民生活の向上を期待し、本決算に賛成する。

歳 出

市制施行70周年記念の事業で初めて行ったことは

委員 市制施行70周年記念の事業において、初めて行った事業はあるか。また、その事業が決まりた経緯は。

委員 新総合体育館基本構想策定に向けて検討協議会を立ち上げたとのことだが、具体的な検討内容を聞きたい。

委員 新総合体育館整備担当副主幹 学識経験者やプロスポーツのトップチーム関係者、公募

に実施したバルーンフェスティバルのほか、夏休み期間中に市内の小学生からアイデアを募集したミライをつくるアイデア募集事業については、70周年の事業として初めて実施した。経緯としては、70周年からその先の100周年を見据えた中で、次代を担う子どもたちの意見を取り入れ、また、それが実現する過程を体験してもらいたいといった思いも込めて、子どもたちとともに未来をつくっていくことを目的に、アンケート調査の項目と対象者などをについて協議し、幅広い世代に調査を実施した。また、総合体育館に求められる市民ニーズの把握を目的に、アンケート調査の項目と対象者などをについて協議し、幅広い世代に調査を実施した。また、生涯学習センターの体育機能との統合や多機能化等を可能にするマルチスペース導入などの検討に加え、他自治体の先進的なアリーナの調査・分析も行った。

委員 新総合体育館基本構想策定に向けて検討協議会を立ち上げたことだが、具体的な検討内容を聞きたい。

委員 新総合体育館整備担当副主幹 学識経験者やプロスポーツのトップチーム関係者、公募

に実施したバルーンフェスティバルとして、全長6キロメートルを歩く1dayウォーキングも開催した。

委員 新総合体育館基本構想策定に向けて検討協議会を立ち上げたことだが、具体的な検討内容を聞きたい。

委員 新総合体育館整備担当副主幹 学識経験者やプロスポーツのトップチーム関係者、公募

に実施したバルーンフェスティバルとして、全長6キロメートルを歩く1dayウォーキングも開催した。

委員 新総合体育館基本構想策定に向けて検討協議会を立ち上げたことだが、具体的な検討内容を聞きたい。

委員 新総合体育館基本構想策定に向けて検討協議会を立ち上げたことだが、具体的な検討内容を聞き

一般質問

(4~7面 中段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は24人48件の一般質問がありました。（他はその他の質問）

※会派名は一部略して掲載しています。

市政会・府中市議会市政会 フォーラム・府中市議会市民フォーラム（立憲民主党・都民ファーストの会・無所属）日本共産党・日本共産党府中市議会

維新・日本維新の会 ネット・生活者ネットワーク れいわ・れいわ野口なかおと仲間たち

二次元コードから各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけます。

おぎの雄太郎
(市政会)

学校長期休業中の学童クラブの昼食提供
今後の展望は
冬休みから一部の学童クラブで
試行的に実施する



議員 学校長期休業中の学童クラブの昼食提供について、今後の展望は。
市長 昼食提供を望む保護者の声が増えていることから、先進自治体の取組や従事する指導員の意見等を参考に検討し、令和7年度の冬休みから一部の学童クラブで試行的に実施する。そこで運営上の課題を丁寧に把握し、本格的な実施に向けた検討を進めていく。

議員 8年度の夏休みからの実施を望むが、現時点での市の考えは。
子ども家庭部長 本格実施に当たっては、今回の試行実施で得られる児童や保護者からの意見のほか、学童クラブ指導員や事業者等の声を踏まえ、様々な課題を整理した上で、8年度以降の事業実施に向けた検討を行っていく。

他 ファミリー・サポート・センター事業について

議員 府中第二小学校などの大規模校での改築・長寿命化における課題や今後の展望等は。
教育長 大規模校では、改修計画において、学校内に築年数が異なる複数の施設がある場合の使用に当たって制約が生じるという課題がある。そのため、学区域の見直しを検討しているが、出生数が減少傾向にあることから、現時点では学区域の見直しは行わず、課題を改善するための対策を早急に検討すべきと捉えている。

議員 第2次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画において、学校内に築年数が異なる複数の施設がある場合の考え方を聞きたい。

議員 横田 実
(市政会)

横田 実
(市政会)

消防団員の出動報酬見直しの考えはあると捉えている



議員 令和7年4月に10名の女性消防団員が入団したと聞くが、どのような活動をしているのか聞きたく。

危機管理監 消防団全ての分団が関わる訓練に参加しているほか、月に1回の定例会議を実施し、その中で消防団の役割や責務を理解するための講義や規律訓練などを行い、消防団員として必要な知識を積み重ねている。

他 府中市と各種団体・企業・組合との災害協定について●子育て世代包括支援センター「みらい」について

議員 市が令和7年度に新たに開始した熱中症対策を聞きたい。

福祉保健部長 市内の薬局22店舗をクールシエアスポットとして開設したほか、熱中症の注意喚起等について防災行政無線などで広報活動を実施している。

議員 小・中学校における熱中症対策は、また、学校の最上階教室では冷房の効きが悪く、勉強に集中できないと聞くが、その対策は。

教育部長 6月から9月までを熱中症要配慮期間とし、2学期の開始を9月1日としたことや、環境整備として簡易ミストの設置とテンントの追加配備などに取り組んでいる。また、最上階教室の対策として四谷小学校をはじめ一部の学校に遮熱カーテンを設置する予定である。

他 ゼロカーボンシティ推進について●トップアスリート派遣事業について

議員 一部の政令指定都市では、国や都が提供する補助金に関して専門チームが情報収集や申請手続を一括して行うことで、補助金獲得の機会損失を防いでいる。

議員 市が令和7年度に新たに開始した熱中症対策は、築年数が異なる学校内施設に対する改築等の考え方等の考え方があると捉えている。

他 老朽化が進んでいる建物を先行して改築する

議員 手塚としひさ
(フォーラム)

市が令和7年度に新たに開始した熱中症対策は、築年数が異なる学校内施設に対する改築等の考え方等の考え方があると捉えている。

議員 他自治体の補助金獲得専門チームの成果調査・研究は把握していない。

議員 えもとひろあき
(維新)

他自治体の補助金獲得専門チームの成果調査・研究は把握していない。

</

議員 市が行っている多文化共生の取組について、目指すところを聞きたい。

市長 近年、全国的な傾向として一部において偏見や差別的な言動が見受けられ、それが助長されることへの懸念もあると認識している。本市では、国籍や民族等の違いを超えて、多様な価値観を認め合いながら共に暮らせる社会の実現を目指し、今後も着実に取組を推進していく。

議員 東京2025デフリンピックが開催されるが、終了後のレガシーに対する考え方。

市長 本市では、手話を必要とする市民が安心して暮らせる環境づくりに努めるとともに、共生社会の理念が将来にわたり定着するよう、デフリンピックの成果を本市の財産として着実に継承していく。

議員 市の大会実施方針に、手話の理解の促進・普及等と明記され

渡辺 俊一郎
(フォーラム)

デフリンピック終了後のレガシーに対する考え方
共生社会の理念が着実に継承していく



てているが、どのような取組を行っているのか。

福祉保健部長 市立小・中学校では、デフ競技をデフアスリートと体験する授業を実施している。また、市内で開催されるイベントにおいて、手話体験講座の設置など、誰もが手話を身近なものとして感じられる取組を行っている。

他 府中市のフレイル予防接種について●帯状疱疹の予防について●帯状疱疹の予防

西のなおみ
(無所属)

多文化共生の取組
市が目指している
多様な価値観を認め
共に暮らせる社会の
実現を目指している



議員 市が行っている多文化共生の取組について、目指すところを聞きたい。

市長 近年、全国的な傾向として一部において偏見や差別的な言動が見受けられ、それが助長されることへの懸念もあると認識している。本市では、国籍や民族等の違いを超えて、多様な価値観を認め合いながら共に暮らせる社会の実現を目指し、今後も着実に取組を推進していく。

議員 学校で子どもたちが差別する側にもされる側にもならないよう、市として差別をなくすための考えは。

教育部長 学校全体で互いに尊重し合う意識を醸成し、いじめや差別のない学校の実現に向け、今後も人権教育の推進といじめ防止の徹底に取り組んでいく。

他 ひとり親世帯への支援について●今後の学童クラブの在り方について

議員 令和2年に学習指導要領の全面改訂が行われ、英語に慣れ親しむことを目的に、小学校3・4年生からの外国語活動が導入された。そこで、市立小・中学校での外国語活動や英語学習の取組について聞きたい。

教育部長 全ての市立小・中学校に外国語活動助手であるALTを配置したほか、体验型英語学習施設「Tokyo Global」

奈良崎久和
(公明府中)

市立小・中学校
取組を聞きたい
児童・生徒が英語で話す機会の充実に努めている



Gateway」を活用するなど、児童・生徒が英語で話す機会の充実に努めている。

議員 タブレット端末を活用したネイティブの講師によるオンラインでのマンツーマン英会話レッスンの導入について、市の見解と課題は。

教育部長 発話機会を増やす効果があるものの、導入には指導力の確保や事業者の選定、費用面での課題がある。

西村 陸
(公明府中)

介護人材の確保に向けた育成センターの整備等について、市の考え方を聞きたい。

福祉保健部長 市では、現在も研修会を定期的に開催するなど、育成支援を実施している。一方で、新たな拠点を整備するには、人員面や費用面での課題があるため、今後、他の事例を参考に調査・研究していく。

議員 短時間・単発で働くことができるスポットワークについて、市の見解は。



議員 介護人材の確保に向けた育成センターの整備等について、市の考え方を聞きたい。

福祉保健部長 市では、現在も研修会を定期的に開催するなど、育成支援を実施している。一方で、新たな拠点を整備するには、人員面や費用面での課題があるため、今後、他の事例を参考に調査・研究していく。

議員 短時間・単発で働くことができるスポットワークについて、市の見解は。

福祉保健部長 事業者向けに人材確保をテーマとした研修を実施し、スポーツワークについて取り上げたところ、複数の事業者が活用意向が示されており、一定のニーズがあると認識している。今後も事業者のニーズ等を踏まえ、支援の在り方を検討する。

他 緊急時の負傷者などの搬送をより安全に

▼学級担任を英語面でサポートするALT



▲平和を祈り広島市に贈った折り鶴

議員 訪問型の産後ケアについて、今後に向けて課題をどのように捉えているのか。

子ども家庭部長 多様化するニーズに柔軟に対応できる体制の整備が重要であることから、利用者や助産師等の声も参考にしながら、その必要性や効果を継続的に検証していく。

奥村さち子
(ネット)

訪問型産後ケア
今後の課題をどのように捉えているか
助産師等の声も参考
継続的に検証していく



議員 産前産後家事・育児支援事業では、利用希望の多い委託事業者にサービスの拡充が

子ども家庭部長 人件費高騰により人材確保に苦慮することがあり、結果として供給量を増やしていくとの声がある。当該事業は、今後も利用者のニーズに応えられるよう、支援を検討していく。

他 給食用食材における产地偽装の対策について

竹内 純子
(日本共産党)

児童・生徒に平和のグラムを策定する考えは
独自の平和教育プログラムを確立するため
事例を研修する他市の研究する



議員 本市の平和啓発を通じて目指す都市像とそれに対する取組は。

市長 都市像は「市民一人一人が府中市平和宣言を尊重し、世界平和への願いや愛する郷土を未来に引き継ぐ意思を持って、幸せに暮らすまち」である。戦後80年という節目の年を迎え、改めて平和への思いを市民と共にし、実現に向けて今後も平和意識の啓発や情報発信に積極的に取り組んでいく。

議員 広島市のように、独自の平和教育プログラムを策定することについて、市の考えは。

教育部長 市立小・中学校では、国語科、社会科等で平和に関する学習を行っている。また、市内関係団体の取組を紹介するなど、児童・生徒に平和の大切さを様々な場面で学ばせていただきたい。

他 災害と事故に強いまちづくりについて

議員 産前産後家事・育児支援事業では、利用希望の多い委託事業者にサービスの拡充が

子ども家庭部長 人件費高騰により人材確保に苦慮することがあり、結果として供給量を増やしていくとの声がある。当該事業は、今後も利用者のニーズに応えられるよう、支援を検討していく。

他 給食用食材における产地偽装の対策について

坂本けんいち
(公明府中)

学びの多様化学校「かがやき」への通学費助成の考えは
他市の情報を収集していく研究していく



第3回定例会議案等議決結果一覧

全会一致で可決・同意・認定された議案（21件）

市長提出議案		件名	番号	件名
51	府中市道路線の認定について	66	物品の買入れについて	
52	府中市道路線の廃止について	67	令和7年度府中市一般会計補正予算（第1号）	
53	府中市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	68	令和7年度府中市介護保険特別会計補正予算（第1号）	
54	府中市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	69	令和7年度府中市競走事業会計補正予算（第1号）	
55	府中市職員退職手当条例の一部を改正する条例	70	令和7年度府中市下水道事業会計補正予算（第1号）	
59	府中市営駐車場条例の一部を改正する条例	77	令和6年度府中市下水道事業会計の決算の認定について	
60	府中市立自転車駐車場条例の一部を改正する条例	78	監査委員の選任の同意について（井上 郁子氏）	
62	府中市立府中第六小学校校舎等改築に伴う外構工事請負契約	79	人権擁護委員候補者の推薦の同意について（掛川 亜季氏）	
63	府中市立府中第三小学校校舎等解体工事請負契約の変更について	80	人権擁護委員候補者の推薦の同意について（鈴木 徳太郎氏）	
64	物品の買入れについて	81	人権擁護委員候補者の推薦の同意について（鈴木 洋介氏）	
65	物品の買入れについて			

賛否が分かれた議案(11件)

賛否が分かれた陳情(1件)

議員名	おぎの雄太郎	宮田よしひと	大室はじめ	秋山としゆき	松村祐樹	佐藤新悟	横田実	比留間利蔵	前川浩子	渡辺しよう	にしみや幸一	稻津憲護	手塚としひさ	坂本けんいち	福田千夏	高津みどり	西村陸	奈良崎久和	山本真実	杉村康之	竹内祐子	そなえ邦彦	からさわ地平	ゆうきりょう	奥村さち子	西のなおみ	野口なかお	
番号	件 名																							本会議 結 果				
9	府中市議会に「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」の生活支援における国籍要件の導入の撤回を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	x	x	x	x	x	x	議長	x	x	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	x	○	○

*議長は表決に加わりません ○：賛成 ×：反対

○：賛成 ×：反対

◎府中市議会に「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」の生活支援における国籍要件の導入の撤回を求める意見書の提出を求める陳情

この陳情は、「博士後期課程の学生に生活費や研究費を支援する『次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）』について、国は生活費支給を日本人に限定し、留学生を対象外にする方針を発表した。国籍により支援を受けられない学生がいることは、多様性に基づく研究力の低下につながりかねないことから市議会として、国に対しSPRING制度の生活支援における国籍要件の撤回と国籍・出自・経済状況などを問わず、博士後期課程の学生支援を充実させることを求める意見書を提出してほしい」との内容である。

総務委員会で審査し、委員から、「今回の見直しは、日本人研究者の增加と育成が狙いであること、また国費外国人留学生制度等で生活費相当の支援を行っていることから、不採択を主張する」「良質かつ国際的な研究体制を望んでいくことは、市議会としても意義があると考え、採択を主張する」等の意見があつた。

審査の結果、本陳情については、賛成少数により、不採択にすべきものと決定した。

定例会日誌

(次の日程で開催しました)

<8月>

29日 本会議(委員会付託等)

<9月>

1日 ツ (一般質問)

2日 ツ (ツ)

3日 ツ (ツ)

4日 総務委員会

5日 文教委員会

8日 厚生委員会

9日 建設環境委員会

10日 基地等跡地対策特別委員会

11日 市庁舎建設特別委員会

12日 学校施設老朽化対策特別委員会

17日 本会議(常任委員会審査報告等)

編集後記

会報編集委員会 委員長 大室 はじめ
委員 坂本 からさわ 地元
宮田 えもとひろあき
渡辺 けんいち
山本 よしひ
眞空 しよ

令和6年度決算の審査を中心に行なう。第3回定例会の内容をまとめた、議会だより第327号をお届けします。

私たち編集委員は、これからも、より読みやすく親しみやすい紙面づくりに努めていきたいと思つております。

会派の構成 令和7年第3回定例会

府	中	市	議	会	市	政	会	8
府	中	市	議	会	市	民	ム	人
(立憲民主党・都民ファーストの会・無所属)					フ	オ	ラ	人
公	自	由	明	府	中	ラ	中	5
自	由	ク	明	府	市	議	ブ	人
日	本	共	産	党	中	ラ	團	4
日	生	本	維	新	の	一	会	2
無	活	者	ネ	ト	ワ	ク	属	人
			ツ					人
			所					人

(令和7年9月29日現在)
※会派は、議会における同じ政策を持つ議員の集団で、原則として、
2人以上の議員で構成されます

令和7年第4回定例会は
11月28日(金)午前10時開会の予定です。

本会議及び委員会は市議会ホームページからインターネット配信等も実施しています。



▲インターネット 配信の二次元 コード